

# 生活科の実践

札幌市

生活科

1年

マップやカードを活用し、「もっと」を生む

## 夏の公園で遊ぼう

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

### 単元の概要 と 単元構成

この単元は、公園だけではなく、緑道に隣接した水の流れる小川での遊びを工夫しました。

スチロールボードのマップに子どもたちの活動を位置付けることで、「こんなこともできるんだ」「今度は～で遊んでみよう」と活動の成果を共有しつつ、次の活動への期待を高めていきました。

### 学習活動の流れ (8 時間)

1学期に楽しんだ場所に再び出かけることで、遊びの継続、新しい遊び、活動から感じる季節の変化などを意識させました。

新しい遊び場所である、「せせらぎ緑道」と出会わせ、流れる水の面白さに気付かせました。

充実した公園マップを振り返りながら、楽しく遊んだ自分に気付くことができました。

#### 夏の北公園で遊ぼう (3)

- ・続けて楽しんでいる遊び
- ・新しく増えた遊び

#### 気持ちよさそうだから、せせらぎ緑道を歩いて帰ろう

- ・公園マップに楽しかったことを貼ったそう
- ・せせらぎ緑道を流れる水でも遊べることもあるよ
- ・どんな遊びだと楽しそうかな

#### せせらぎ緑道で楽しみたいことを発表しよう (1)

- ・次はものをつくって
- ・今度はこの遊びもしたい

#### もう一度、せせらぎ緑道で遊ぼう (1)

#### 緑道の先の公園で遊ぼう (2)

- ・お楽しみマップでがが大きくなって、楽しいこともいっぱいになったね

#### おすすめの遊びを知らせよう (1)

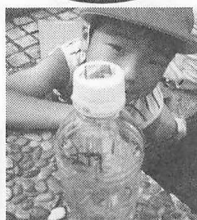
- ・マップを見ながら遊びを思い出そう

都市計画に基づいて設計された地域です。公園や緑道など、学校周辺の環境も例外ではありません。いくつかの公園と学校が緑道でつながっています。本單元では、緑道に沿って流れる小川での遊びが主役です。



スチロールボード

## 教材・活動の Point!



### 1. 地域環境を分析して単元構想を

緑道に沿って流れるせせらぎ緑道。そして、緑道でつながる複数の公園。これらの都市計画に基づいて設計された環境を生かした単元です。春からは、学校のすぐ近くにある「北公園」を中心に据え、友達と同じ環境に繰り返しかわることをまず大切にし、「とても楽しかった」「もっと～したいな」という思いや願いを育てました。

### 2. 遊びを創造する力を育む夏の活動

水が流れるせせらぎ緑道。学校のすぐそばに流れているにもかかわらず、この小川は全く遊びに使われていませんでした。ここでものを浮かべたり流したりする遊びを創造することで、夏ならではの遊びの工夫を楽しむことができました。一緒に工夫したり、遊んだり、競争したりといった友達とのかかわりも生まれました。



### 3. マップやカードの活用で思いや願いを広げる

スチロールボードのマップを用いました。

ピンに子どもの人形を取り付けて刺すことができ、どこで遊んだかということが位置付けられます。また付箋も使い、子どもの気付きが見えるようになりました。「発明カード」「こんどはカード」などで、子どもが気付きや思い・願いを表出するとともに、教師が見取ることができるようにしたのです。

